

「論文入門研修」について

1. 本講座の趣旨：

薬剤師の職能の向上のためには、テキストによる自己学習と共に、自ら考え、研究する姿勢が求められている。本講座は基礎的な研究心の醸成のための講座である。

2. 方策：

薬剤師として安全・安心な薬物療法を行っている中で、自己の持つ経験や考えを、通信教育講座の内容と照らして了解したこと、逆に疑問を持ったことなどをテーマとして、それに関する文献調査等を行い、記載する。つまり、「疑問」を持ち、調査などにより得た結果から結論を導く過程を記載するというステップを踏む。これにより、研究的な思考の醸成と、文章化する（記載する）訓練を行い、将来、論文を作成するための基礎力をつける。つまり、研究論文への第一歩（足掛かり）と考えられる。

3. 具体的方法：

提出文書には「テーマ名」「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」「文献」の順に記載する。提出用紙をダウンロードして用い、明朝 10.5 ポイントで作成する。字数は制限しない。原則としては、メールに添付して提出とするが、FAXでも受け付ける。

E-mail:jwpa-cpc@kza.biglobe.ne.jp

FAX:03-3621-0521

具体的な記載要領は下記による。

テーマの設定：その年度に配本する 8 回の薬剤師継続学習通信教育講座のテーマに関連するテーマとする。

目的：自分がなぜこのテーマを選んで調べることになったかを、簡潔に記載する。

方法：調べる手段として何を使ったかを記載する。（文献、専門家の話、実際に利用者に質問をした 等）

結果：その結果はどうであったか、何が解ったか、を記載する

考察：出た結果が、他の文献などと比べての妥当性等を評価する。また、場合によっては自分の考えを客観的な理由を付けて、主張する。

結論：目的としたことに対して、どうであったか、を記載する

文献：「方法」及び「考察」に用いた文献を記載する。

4. 評価について

提出された書類は、日本女性薬剤師会の担当者 2 名が査読し、合否を査定し、コメントを添えて、返送する。ただし、高度に専門的な場合には、外部の専門家に依頼する。

査読のポイント：「目的」は自分が考えている事であるか、記載方法は規定にあってるか、文章化は理論的に行われているか、等を中心とする。

研修生への説明

「論文入門研修」について

日頃の薬局業務などで、利用者（患者）と薬剤に関連する疑問や課題、或いは新たな知見等について考え、検討し、それを文章化し、既定の用紙に記入し提出する。将来的に論文を作成できる能力の育成が目的であり、その初歩的な講座である。

以下の項目に従って記載する。

記載する項目の設定

- (1) 年間8回行われる通信教育講座のテーマの関連で選択したテーマとする
- (2) テーマを選択した背景（日常業務との関連、或いは疑問点等）
- (3) 疑問点、調べたいこと、経験したことの詳細
- (4) 文献などを検索した結果
- (5) 結果から何が考えられるか。
- (6) 結論（②はどのように結論されるか）
- (7) 参考文献

評価について

- 1) (1)～(6)までが明確に記載されている事
- 2) 文章の構成が適切である事

なお、提出物に関しては、コメントを記載して返送するが、場合によっては、修正を求めることがある。